

PRESS RELEASE

2018年12月6日

取材のご依頼

12/19（水）城陽市立富野小学校にて
高学年に向けた障害児者理解教育を実施します

【現状】

京都府の小・中学生児童生徒の6.5%が発達障害の可能性があると、多くの発達障害者が社会で生活されていますが、外見からは分からず、その生きづらさが見えにくいと、行政、企業、府民の発達障害の理解が不十分な状態にあります。京都府では、「オール京都体制での支援・連携ネットワークの構築」を目指し、課題ごとのプロジェクトチームを設置し、支援の充実や連携強化を図っています。（平成25年京都府発達障害者支援体制整備検討委員会資料より）

【理解促進に向けて】

社会福祉法人南山城学園では、平成28年度から城陽市立富野小学校児童向けに福祉教育の一環として「障害について」をテーマにお話しをしてきました。今年度は7月に1年生から6年生までの全校生徒向けの講和を実施。さらに、12月には5～6年生向けに、身近な例や障害のある方の生活を動画で紹介しながら人それぞれの生きづらさを「理解しようとする」大切さを伝え、ちがいに合わせた手助けを皆で考える理解教育の一役を担います。

社会福祉法人南山城学園では、これらの活動を通じて「すべての人が共に生きる地域社会づくり」を目指し、地域の皆様と共に歩んでいくことを願っています。

報道関係の皆様には、ご取材いただき、内容の周知にお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

【富野小学校高学年向け理解教育】

日時： 2018年12月19日（水） 9：30～12：00

会場： 城陽市立富野小学校
（城陽市富野堀口1番地）

内容：「ちがいとおなじ」

講師：社会福祉法人南山城学園
障害者支援施設 翼 副施設長 小関 徹史



↑ 7月に実施した全校生徒への講話の様子

<取材についてのお問い合わせ>

社会福祉法人南山城学園

法人本部 事務局企画広報課 立田

〒610-0112 京都府城陽市長池五社ヶ谷14-1

TEL：0774-54-7210 FAX：0774-54-2117